

愛媛大学へ説明会開催

〈愛媛森林管理署〉

七月一五日、四国局と愛媛大学との連携協定の本年度の取組の一環として、農学部森林資源学コース三回生二一名に対し、国有林の現地説明会を開催しました。

当日は心配された天候にも恵まれ、局より参加して頂いた木村業務管理官から「本日の現地説明会が皆さんの進路や研究テーマの参考になれば幸いです」との挨拶がありました。

説明会では、最初に相名山国有林二〇林班の森林整備事業（保育間伐活用型）の現場にて、丸田地域林政調整官が事業概要について説明を行いました。さらに請負事業体の（株）いぶきの白川部長から森林作業道の作設、伐倒、造材、運材までの一連の作業について説明があり、実演ではスギ立木が伐倒される度に学生から歓声があがっていました。

続いて、面河山国有林一二林班の面河四国カルスト自然休養林内に移動し、国有林のレクリエーションの森制度について中井総括森林整備官より説明を行

うとともに、自然休養林内の歩道を散策して、雄大な原生林と清流に触れてもらいました。

最後に、（株）久万木材市場にて、国有林材の販売制度等について牛尾主任森林整備官が説明を行うとともに、自動選別機による木材の選別・仕分け状況等について久万木材市場の成川社長から説明を受けました。

また、移動中のバス内でも、川畑署長から入庁案内、本田森林技術指導官から四国局の業務概要の説明を行うとともに、愛媛DOGの毛利技官から入庁後の体験談や公務員試験対策などの説明を受け盛り沢山の内容となりました。

なお、今回の現地説明会の模様については地元新聞紙に掲載され、当署の取組を広く県民にPRする良い機会になりました。



(生産現場での説明状況)



(挨拶する木村業務管理官)



(久万木材市場での説明状況)



(自然休養林内での説明状況)